

EA713BC(ドwell/S tachometer)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

特徴

2種類の測定コードによりエンジンの多様化に対応しています。プライマリー及びセカンダリーピックアップ方式による測定のため、あらゆるガソリンエンジンの回転が測定できます。

カラースケールを備えた大型メータ採用により、測定しやすく正確なテストができます。

乾電池を内蔵しているので電源コードは必要ありません。

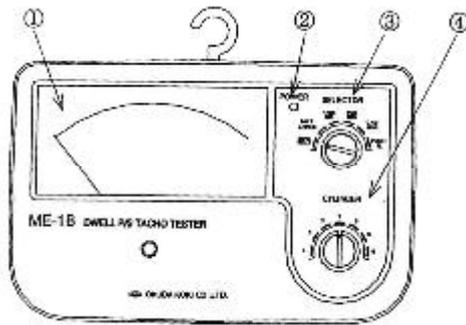
ABS樹脂製ケースのため自動車ボディーに傷をつけません。

ダイナミックポイント測定方式のため、エンジンをかけたままポイントギャップ、ポイント抵抗のテストができます。

仕様

測定項目	ドwell角 2.3.4.5.6.8気筒、回転数 0 ~ 1500rpm 0 ~ 7500rpm	
測定コード	一次用クリップセンサ	約2m
	二次及び一次用クランプセンサ	約2m
対象エンジン	ガソリン車 (1.2.3.4.5.6.8気筒対応)	

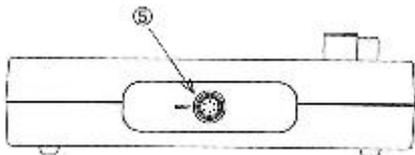
各部名称



大型スケールメータ
(カラースケール)

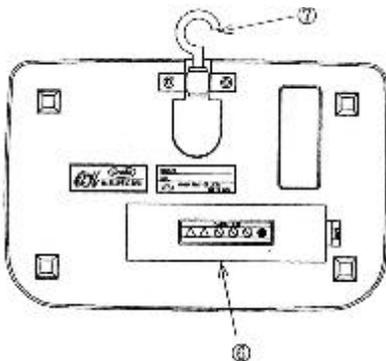
POWERランプ
(電源表示)

SELECTORツマミ
(測定項目ツマミ)



CYLINDERツマミ
(気筒数切替ツマミ)

センサ接続コネクタ (INPUT)
(センサ用)



バッテリーケース
(単3乾電池 4本)

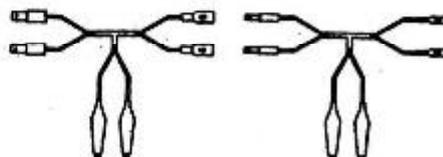
フック



クリップセンサ



クランプセンサ



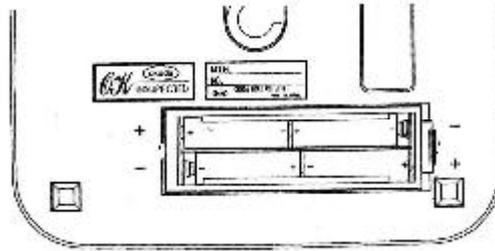
13TUアダプタ

13TUSアダプタ

電池

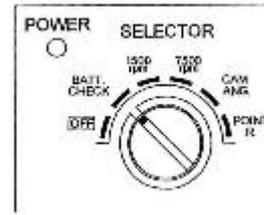
1. 電池の入れ方

(電池の向きは正しく入れてください。)



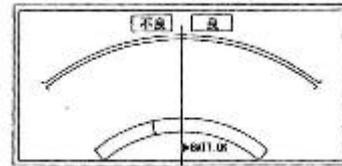
2. 電池のチェック

SELECTORをBATT .CHECKにセットしてください。



メータのBATT .OKマーク以上針が振れれば電池は使用可能です。マーク以下の場合は、電池が消耗していますので交換してください。

- 注) 電池の交換は、4本とも新品に交換してください。
長期間使用しないときは、電池を外しておいてください。



使用方法

1. センサコードを接続してください。

測定を行いたい方式のセンサコードをコネクタに接続してください。

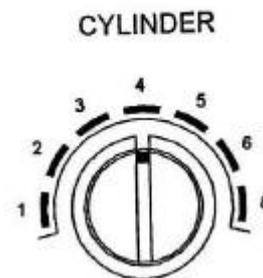
- 注) クリップセンサ又はクランプセンサの接続。
クランプセンサは、カムアングル、ポイント抵抗の測定には使用できません。

2. 気筒数をセットしてください。

・CYLINDER
測定するエンジンの気筒数によりCYLINDERをセットしてください。

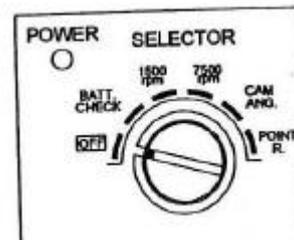
- 注) DIS車の回転測定用端子 (カプラー) より測定する場合、1 (第一気筒) のみ信号が出ている車両がありますので、CYLINDERつまみを1にセットしてください。
クランプセンサをプラグコード(第一気筒)に接続の場合CYLINDERつまみを1にセットしてください。
同時点火車及びロータリーエンジン車は、CYLINDERつまみを2にセットしてください。

例) 4気筒車

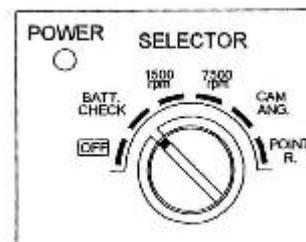


3. 測定する項目をSELECTORによりセットしてください。

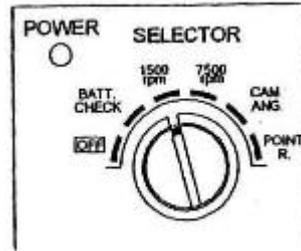
・OFF 電源が供給されずテストは動作しません。
測定終了後は必ず OFF にしてください。



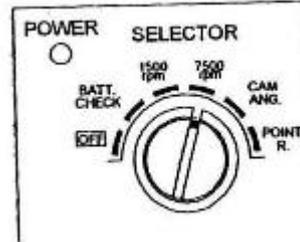
- ・BATT .CHECK 内臓電池の良否を判定します。
メータのBATT .OKマーク以上針が振れれば乾電池は使用可能です。マーク以下の場合は電池が消耗していますので交換してください。
測定する前に、必ずチェックしてください。



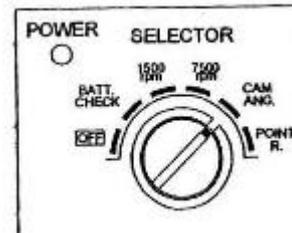
- ・1500rpm 0～1500rpmの低回転域の測定に使用します。アイドリングの調整などに使用します。



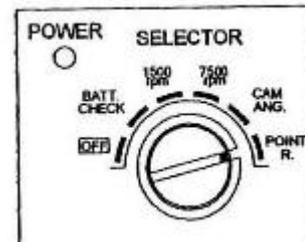
- ・7500rpm 0～7500rpmの高回転域の測定に使用します。(気筒車の場合、測定範囲は0～6600rpmになります。)



- ・CAM ANG. カムアングルの測定をします。エンジンを始動すると指針が振れます。メータの見方は、測定エンジンの気筒数マークの目盛で読みとってください。



- ・POINT R. ポイントの接触抵抗の良否を判定します。(ポイント点火方式のみ)メータ内POINT R.スケールの緑色部分に指針があれば良品です。



注) 指針が安定しないときは、測定コードの取付をもう一度確認してください。メータ保護のため指針以上の回転数を測定した場合、測定中の回転をキャンセルする場合がありますのでご注意ください。

1. クリップセンサによる測定の場合

a)ポイント方式 :図

赤クリップ
黒クリップ

ディストリビュータポイント端子
ボディアース (車両金属部)

b)フルトランジスタ方式 :図

赤クリップ
黒クリップ

点火コイル - 側端子
ボディアース (車両金属部)

2. クランプセンサによる測定の場合

a)ポイント方式 :図

- ・プラグコード (第一気筒)
- ・ディストリビュータのセンターコード
- ・イグニッションコイルの一次線

b)フルトランジスタ方式 :図

- ・プラグコード (第一気筒)
- ・ディストリビュータのセンターコード
- ・イグニッションコイルの一次線

図 ポイント方式

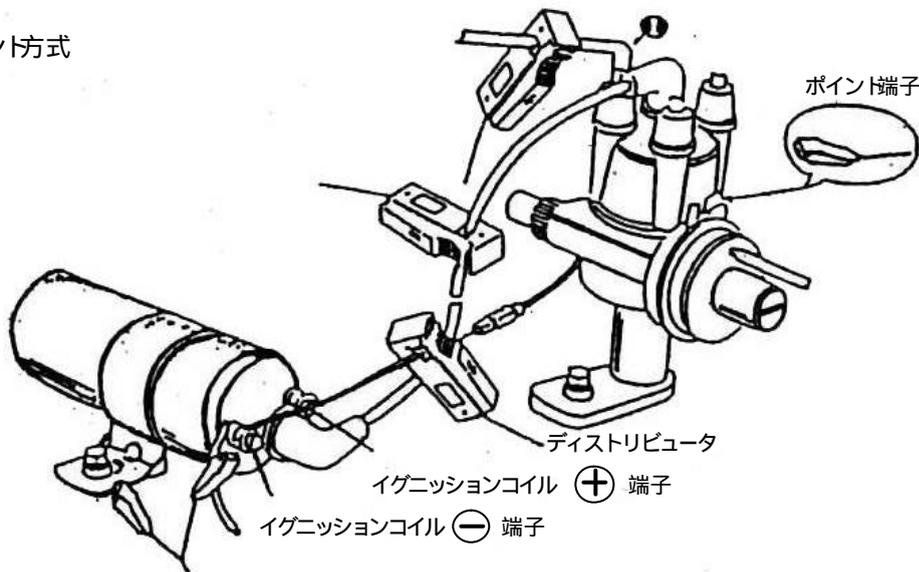
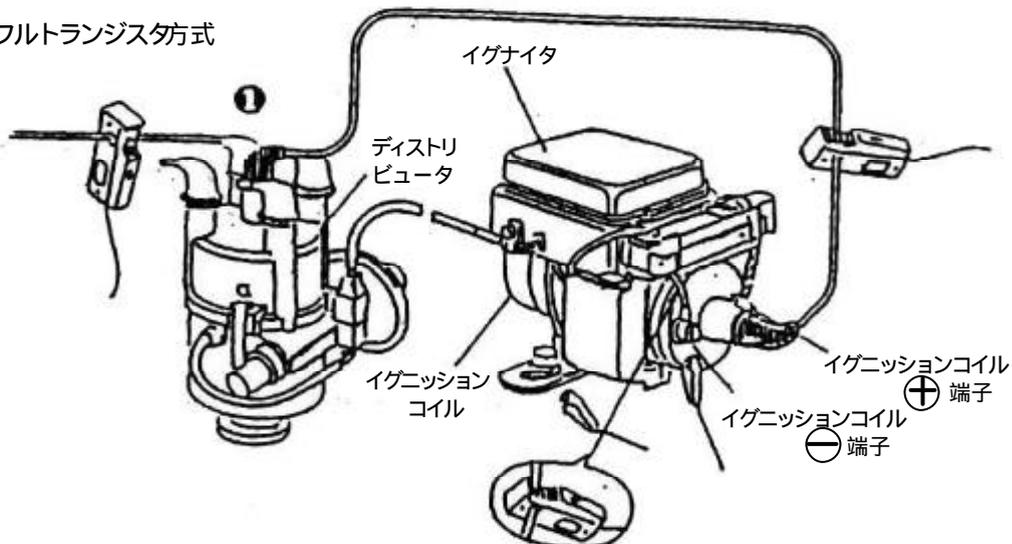


図 フルトランジスタ方式



3. その他点火システムの測定

3-1 ディストリビュータレス・イグニッション (クリップセンサによる測定) :図

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| a) 赤クリップ | イグニッション一次信号端子 (13TU 又は13TUSアダプタを使用する) |
| 黒クリップ | ボディアース (車両金属部) |
| b) 赤クリップ | 回転系接続端子 (点火システムメーカーの指定による) |
| 黒クリップ | ボディアース (車両金属部) |

3-2 ダイレクトイグニッション (クランプセンサによる測定) : 図
一次線にクランプセンサを接続

- 注) クランプセンサの向きを正しく取り付けてください。
プラグコードに取り付けるとき、できるだけプラグから遠い位置に取り付けてください。
高温部 (エンジン等) に直接触れないようにしてください。
作業性の良い方式で測定を行ってください。
測定中の指針が不安定な場合は、測定方式を変えてください。

図 ディストリビュータレス・イグニッション (DLI)

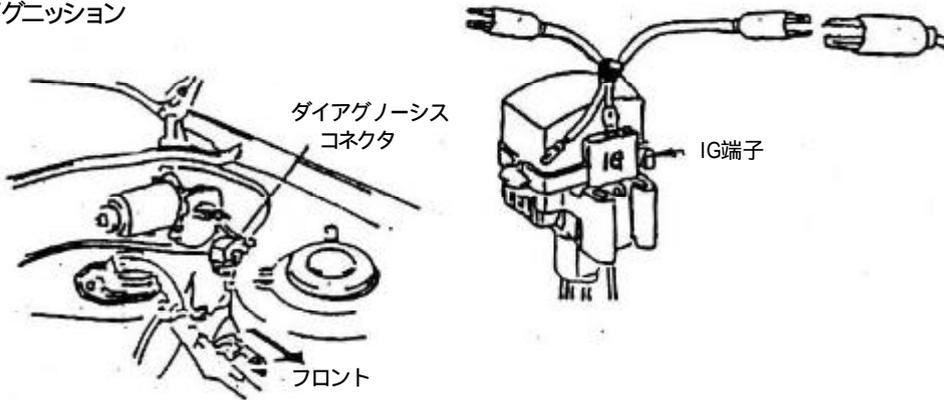
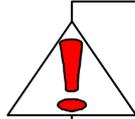
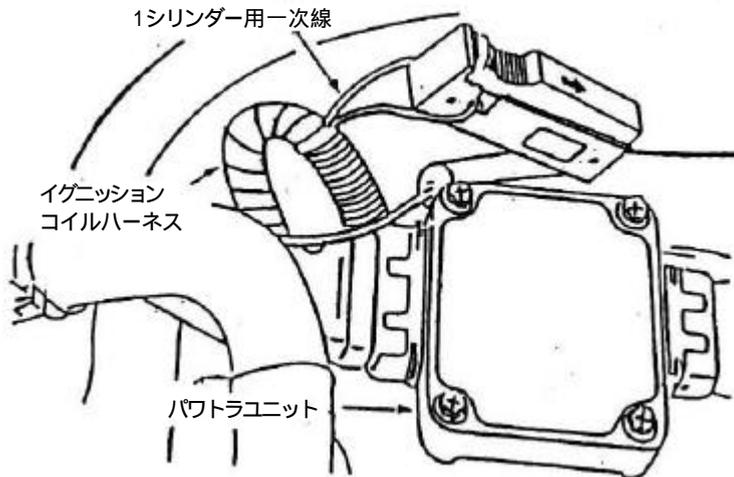


図 ダイレクト・イグニッション (NDIS)



改造しないでください。
本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
ご使用者が怪我をする場合があります。
作業行程に支障を来たす場合があります。